

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年10月31日(火)	確認目的	ALPS 処理水第3回放出の第一段階の実施状況	
確認箇所	K4タンクエリア、多核種移送設備建屋、5、6号機敷地護岸ヤード、免震重要棟			
確認設備	<input checked="" type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input checked="" type="checkbox"/> 移送設備	<input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備	<input checked="" type="checkbox"/> その他
確認結果	<p>第3回放出の第一段階として、ALPS 処理水が想定通り希釈できていることを確認するための作業が行われたことから、その状況を確認した。また、放水立坑（上流水槽）からの試料採取状況を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 測定・確認用タンクA群のALPS 処理水約1m³が約1,200m³の海水で希釈され、放水立坑（上流水槽）に貯留された。 東京電力では、トリチウム濃度が計算上の濃度と実際の濃度が同程度であること、1,500ベクレル/リットルを下回ることを確認後、第二段階として、11月2日以降、測定・確認用タンクA群からのALPS 処理水放出開始を予定している。 ALPS 処理水の移送、希釈にあたり、漏えい検出器の作動やその他の警報の発生はなく、設備の異常は確認されなかった。（写真1） 希釈後のALPS 処理水のトリチウム濃度を測定するため、放水立坑（上流水槽）から採水器により試料を採取していた。（写真2） 			
				
	(写真1-1) 処理水移送ポンプ(A)の確認状況		(写真1-2) 処理水移送配管等の確認状況	
				
	(写真2-1) 放水立坑（上流水槽）からの試料採取の状況①		(写真2-2) 放水立坑（上流水槽）からの試料採取の状況②	